



金沢区文化協会会報



金沢区文化協会
 編集人 加藤千之輔
 広報部長
 ☎ 783-9731
 発行人 助川信彦
 会長
 ☎ 781-9337
 印刷 幸栄印刷(株)
 ☎ 716-3366

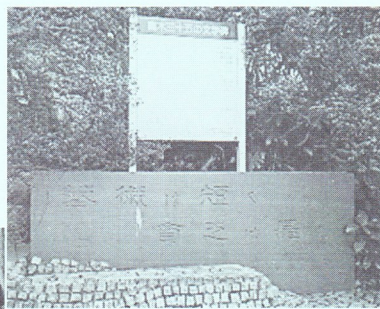
直木三十五・文化講演会及び文学散歩

十一月三十日(日)長浜ホールにおいて『直木三十五・文化講演会』が、直木賞作家の早乙女 貢先生により行われました。主催者を代表して最初に金沢区文化協会助川会長の挨拶があり、引き続きこの講演会を発案された金沢区橘川区長より「長昌寺・慶珊寺の辺りは子供の頃、庭のようにして遊んだ所ですが、そこが有名な直木三十五に縁があり、早乙女先生のご講演があるということで大変楽しみにしております」。またこの講演会を準備して下さった金沢区文化協会に感謝するとのご挨拶があり講演に入りました。

「私が小説家になったのは二十七八才ですから、もう五十年も前のことです。そして直木賞を受賞したのが、昭和四十三年後期、四十三才の時です。直木賞は昭和十年に、新人の顕彰と文学発展のために菊地寛が設立。私事になりますが曾祖父が會津藩士であったため賊軍となり、子孫に至るまで大変な苦勞をしました。徳川幕府の二六六年間は平和でした。鎖国は確かに文明を遅らせたが独自の文化は栄えました。『會津士魂』全二一巻に三二年もかけることができましたのも、私が直木賞を受賞したからできたことでもあります。」

文学散歩

早乙女先生のご講演の後、直木三十五が眠る長昌寺に向けて文学散歩に移りました。ご案内は南国忌事務局長の窪田修氏。長浜ホールを出発して途中、船溜り・富岡八幡宮を通って慶珊寺の横を上ると、三十五が住んでいた家があり、その前に『芸術は短く貧乏は長し』の文学碑が立っています。長昌寺ではお墓参りのあと、窪田氏と石澤住職より直木三十五及び南国忌の由来などについて興味深いお話があり、皆さん大変満足のうちに解散しました。



旧宅前の文学碑

直木三十五の墓



第5回

吟と舞の祭典

金沢区吟剣詩舞道連盟は去る十一月十五日(土)金沢公会堂において第五回記念「吟と舞の祭典」を開催致しました。(金沢区文化協会・共催、金沢区役所・後援)約四百名参加、にぎやかなチャリティ大会となりました。プログラムは三部構成として五年間に培った連盟の力を結集し



ました。第一部「海」ではスライド吟詠「金澤八景」を各会一景ずつ朗詠。次に海にちなむ詩歌を舞い、吟じました。コンクール、式典をはさみ、第二部の「花」では、書・茶・華の三道吟と四季の花の彩りを演じました。そして第三部「源平物語」は迫力一杯の舞台となり無事終了しました。

第5回 席書大会開催

第五回金沢区児童・生徒席書大会が昨年の十月五日、金沢地区センターで開催されました。当日は快晴に恵まれ、小・中・高校生百名の参加者があり盛大でした。生徒達は学年毎に与えられた課題に熱心に一所懸命挑戦しておりました。又、審査時間を利用した「大字書き」への挑戦も希望者が多く有意義な大会でした。優秀作品には区長賞以下、金沢区文化協会長賞、同書道協会長賞、書道春秋社賞の賞状と賞品、ほか全員に参加賞を授与し閉会となりました。尚この時の全作品を区民文化祭作品展会場に展示し好評でした。



第4回 金沢区民俳句(吟行)大会



気のもと金沢山称名寺界限を吟行し、金沢町町内会館で句会を行い、即席俳句を

金沢俳句会では、昨年十一月十六日、金沢区内に居住または勤務する俳句愛好者三十三人が集い「第四回金沢区民俳句・吟行大会」を開きました。良い天

披露し有意義な一日を過ごしました。次に、当大会での上位五位までの秀作を紹介します。

後ろ脚伸ばして亀の小春かな 津田美奈子
 吹き溜る落葉は猫の指定席 川畑 文子
 小春風今朝の花挿す五輪塔 津田 渡
 寂光の池を褥に散る紅葉 惣野 圭子
 枯葉鳴る過去からの声忠魂碑 杉本 春美

課外授業 「カメラ」

小田中学校

平成15年9月～11月 (加藤千之輔)

中学生の写真教室を下記の課程で実施。クラシックカメラ(1930年代)から現代までその発達には特に興味を持ったようで、ファインダーを覗き合って喜んでいました。



- ①「顔合わせ・ガイダンス」 男子生徒21名、女子生徒13名、計34名。
- ②「写真の歴史」 ピンホール写真から今日まで。
- ③「カメラとフィルムの移り変わり」 発達過程と種類、そして使い方。
- ④「撮影実習」 校内で花や仲間を写す実技指導。
- ⑤「現像実習」 モノクロフィルムの現像行程を実演。
- ⑥「良い写真を撮るには」 被写体の捉え方と構図の基本。
- ⑦「講評会」 トリミングと効果的なレイアウト。
- ⑧「発表準備」 2L～4ツ切まで約70点をセレクト。
- ⑨「校内発表」 先生方や父母がその成果を鑑賞。

歴史講演会

『金沢の伝説と民話―六話』



もうすっかりお馴染みになりました楠山永雄先生の、スライドによる歴史講演会も四回目になりました。十一月十六日(日)・金沢地区センター大会議室に一杯の参加者があり、担当者としても大変ありがたい講師です。参考のために第一回目は、平成十二年「金

沢八景の遊覧」、平成十三年「金沢沖に黒船が来た」、平成十四年「伊藤博文公と金沢」、そして今回といずれも地元金沢のお話なので大変好評でした。金沢は源頼朝が鎌倉幕府を開いて以来、大変密接な関係にあり伝説・民話が沢山あります。その中から六話を選ばれ、例によってスライドを使い、軽妙な語り口で参加者を楽しませてくれました。①「金沢八名木」 西湖梅・普賢象桜・雀ヶ浦一つ松・青葉の楓・黒梅・桜梅・文殊桜・蛇混柏(じやびやくしん)、②小栗判官と照手姫、③能になった「青葉の楓」④囲碁で賭けた仁王さん、⑤「見返り美人」の観音さま、⑥大津波で消えた「長浜千軒」の六話について、ユーモアたっぷりにアツという間の二時間でした。なおこの話を詳しく知りたい方は最近、氏が出版された『ぶらり金沢散歩道』に写真入りで易しく解説されておりますのでご参考までに。

第3回 金沢区小中学校音楽祭

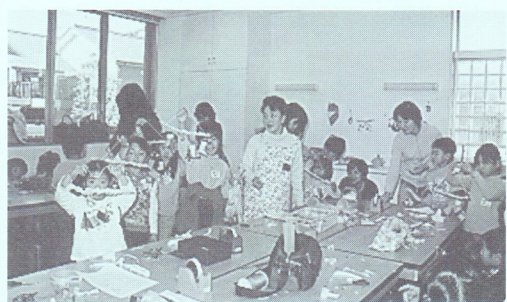


平成十五年も残り少なくなった十二月十四日(日)朝から素晴らしい陽光に恵まれ9時ともなると楽器の搬入とリハーサルに子供達がぞくぞくと集まってきました。第3回を迎えたこの演奏会は、四月の新学期に入るや、区内の小・中学校への打診が始まり、八景小学校鼓笛隊・六浦小学校琴クラブ・能見台小学校特別合唱クラブ・金沢中学校木琴部・金沢中学校吹奏楽部・関東学院中学・高校吹奏楽部とゲストのトロンボーンクワルテットの七団体に決定するまでが勝負の第一歩でした。その後は長い夏休みを挟んで本番まで定期的な打ち合わせを重ねました。プログラム掲載への写真のため各校訪問したり、各学校思い思いの趣向の中にSMAPの「世界に一つだけの花」をそれぞれのスタイルで演奏してもらおう等、会は大盛り上がり、加えて多数の出演者のほか、観客も多く補助椅子を出す程の盛況でした。各学校が色の違っ

た「世界に一つだけの花」を飾った上に、華道部には立派な生花を公会堂の正面に供えてひと役買って頂き、楽しい一日を終えました。

Xマスグッズを作ろう

「小さな雪世界に大よろこび」



児童文化部「ハロールドーム」では、昨年12月13日、能見台地区センターにて「クリスマスグッズを作ろう」会を催しました。公募による幼稚園から小学生までの親子40名程がオリジナルのモバイル型クリスマスツリーを作りました。長靴・星・サンタクロース・リース等を折り紙や紙紐で工夫して作り、それらを用意した「銀杏」の小枝に長短をつけたタコ糸でぶら下げ、小枝の上には綿の雪をのせました。白い綿の間から茶色の小枝が見え隠れし、その下でカラフルな小物達がゆらゆらと揺れて、子供達の手の中にほんの小さな「雪の世界」が出来ました。そのファンタジックな様子に子供達も大喜び、参加者もスタッフも一緒になって楽しい時を過ごしました。

玉堂郎 肉覧会

昨年の内覧会に引き続いて二月十四日・十五日に開催しました。約千五百名の入場者があり、好天に恵まれ、抽選で今年も約千五百名が洩れ、反響が大きかったが、事故もなく無事終了することができました。



文化協会 行事予定 (連絡先) (順不同)

Table with 10 columns and 3 rows listing various cultural events such as 'お花見と野点と講演と備前焼', '金沢地区センター', and '文化祭参加' with dates and phone numbers.

出前文化活動
歴史
金沢小学校歴史部
金沢七井について指導してほしいとの要請で学校を訪れ、生徒さんには資料を渡して説明し、マップ作りは各自の宿題にしました。どんなマップができるか楽しみです。(歴史) 白井俊一 781-8665

第15回 金沢区文化祭 (区民の作品展)
第一回 金沢区絵画展
絵画を愛する区民の皆さんが、一堂に集い、相互の交流をもつて更なる作画への意欲を高めて頂ければと、金沢区文化協会では「金沢区絵画展」を企画したところ、84点にのぼる応募があり、金沢地区センターの大会議室と二階ロビーにて2月20日より24日まで展示することが出来ました。
区制五十周年を記念して平成十年に開催して以来なので準備に若干の戸惑いもありましたが、関係者のご協力により実現の運びとなりました。これを機に「金沢区絵画展」として永く根付かせていければと思います。



賛助会員芳名簿 (個人・団体五十首順)
相川 光正
岩瀬 博愛
小幡 正雄
黒川 澄夫
国吉 一夫
佐藤 謙一郎
田中 肇
松本 純
松崎 淳
峯尾 舜
谷田部 孝一
関東学院大学
金沢区三師会
金沢区食品衛生協会
金沢民謡舞踊普及会
(社) 景翠会
幸栄印刷(株)
(有) 翠祥園
(有) 高松写真商会
真鶴会館
横浜市立大学
編集後記
理事会が隔月となった関係で来年度の行事予定等の確認が遅れ、行事実施部門へ依頼の原稿執筆期間が短くなったが、皆様の協力により第十八号を発行することが出来ました。